

第1回

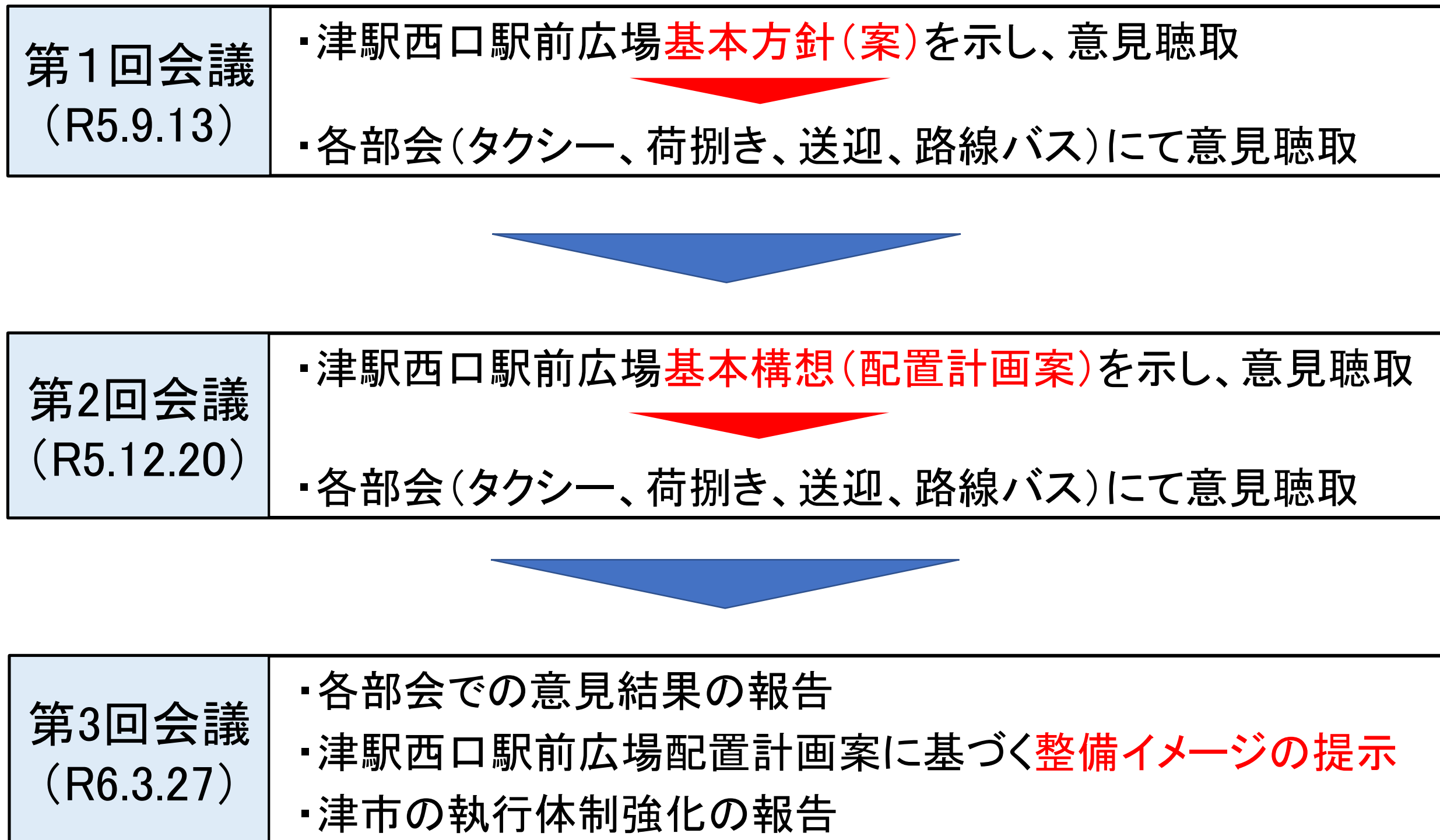
津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議

～令和5年度の振り返り～

令和6年8月9日
津市

1 令和5年度の振り返り

【令和5年度会議の経過】



【配置計画案の作成経緯】

津駅西口駅前広場再編の基本方針(R5.9.13)

◆ 即効性かつ連続性のある西口駅前広場の再編

- ・ 駅前広場の混雑解消及び危険回避が喫緊の課題である点を踏まえ、構造物の設置は最小限にし、必要最低限の施工で最大限の効果を得られる即効性のある対策を実施
- ・ 今後、津駅東口の再編、東西自由通路の整備を見据え、連続性のある施策を展開

◆ 安全性と利便性を確保した交通流動の秩序化

- ・ 公共車両(バス・タクシー)と私的車両(送迎者等)の分離
⇒ 公共車両と私的車両を別々に誘導
- ・ 乗降場所及び歩行者動線の最適化
⇒ 送迎車両の乗降場所を明確化
⇒ バス乗り場を鉄道からの乗継に近い位置に移設するとともに、必要な滞留空間を確保
⇒ スクールバス乗り場をロータリー内に移設
⇒ 歩道幅員の拡幅(最低4m)により、バリアフリー動線を確保

	短期的な課題解決 第1期	中長期的な取組 第2期
範囲	西口駅前広場の 公共用地	東口や東西自由 通路も含めた 津駅周辺全体
目標	安全性と 利便性の確保	地域性の創出と 快適性の向上
実施	ロータリー内の 配置及び動線最適化	連携・共有の 仕組みづくり

配置計画案(整備イメージ含む)の作成(R6.3.27)

1 令和5年度の振り返り

● 配置計画案の考え方

【需要に基づいた交通空間の規模を検討】

項目		台数	必要面積		根拠
			車両停車分面積	乗降客滞留面積	
路線バス	降車場	2台	140m ²	40m ²	■ 現行を踏襲 ■ ダイヤ遅延の滞留を考慮
	乗車場	2台	140m ²	80m ²	■ 現行を踏襲 ■ スクールバス乗り場をロータリー内に移設
	待機場	1台	70m ²	—	■ 現状のダイヤより算出
タクシー	乗車場	2台	40m ²	5m ²	■ 交通量調査より算出
	待機場	1台	30m ²	—	■ 余剰空間に設置
送迎車	降車場	2台	40m ²	—	■ 交通量調査、WEBアンケートより算出
	乗車場	3台	60m ²	—	
	身障者用	1台	—	—	■ 駅舎エレベーター位置に設置
歩道空間		—	374m ²		■ 朝のピーク時の歩行者数を基に算出
車道空間		—	1,158m ²		■ 朝、夕方ピーク時の交通量を基に算出
合計			2,177m ²		

【駅前広場の現況面積】



2,177m² < 2,820m²

既存の駅前広場にて必要交通量に対応することが可能と判断

根拠に基づき配置計画案を作成

1 令和5年度の振り返り

【配置計画案の作成】



1 令和5年度の振り返り

【整備イメージ案の作成】

